

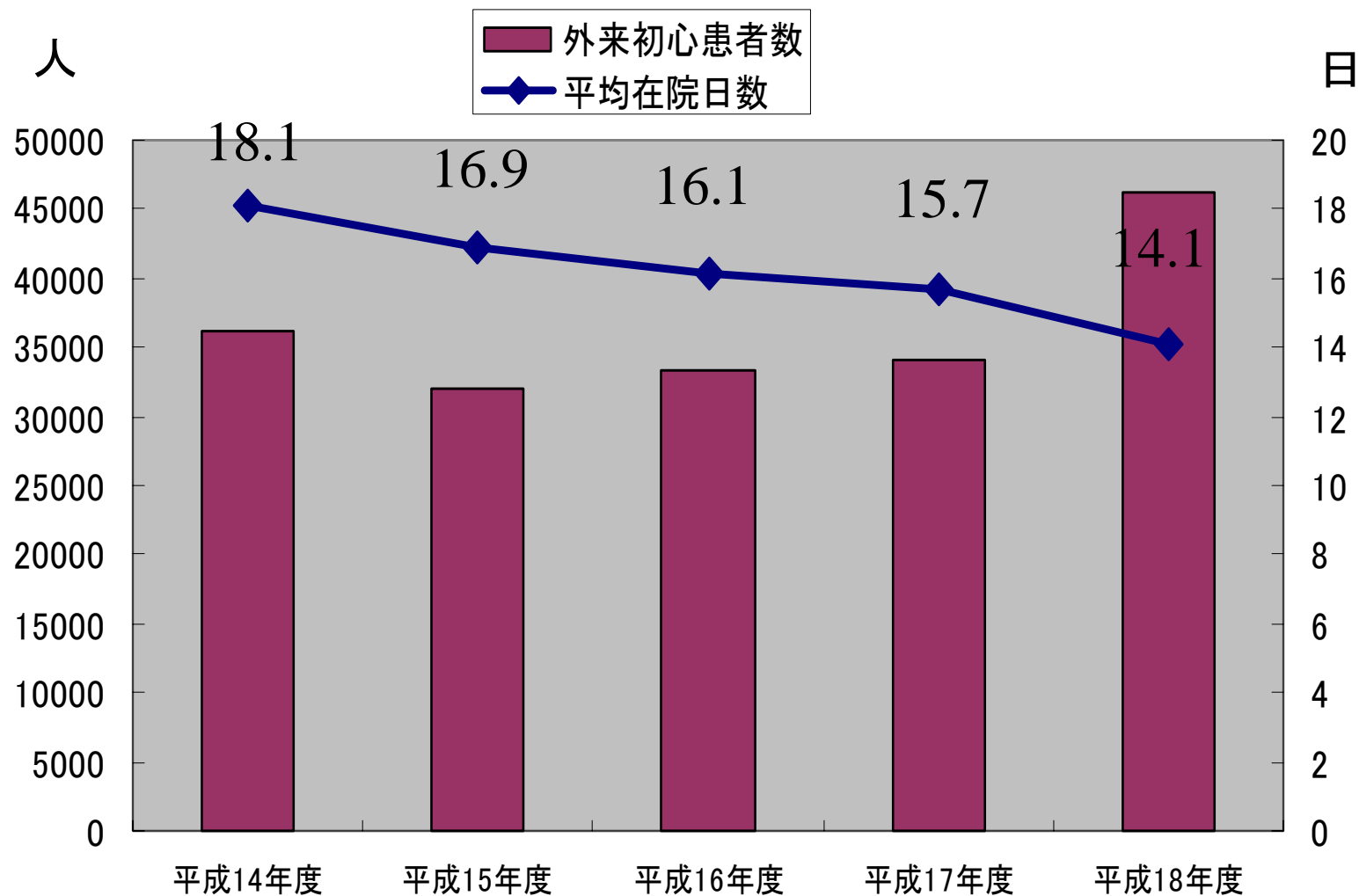
# 在宅支援室における現状 —セルフケアの指導と在宅物品窓口—

皮膚・排泄ケア認定看護師

岩根 弘栄



# 当院における外来初診患者数と平均在院日数



# 在宅療養指導料に含まれる医療材料

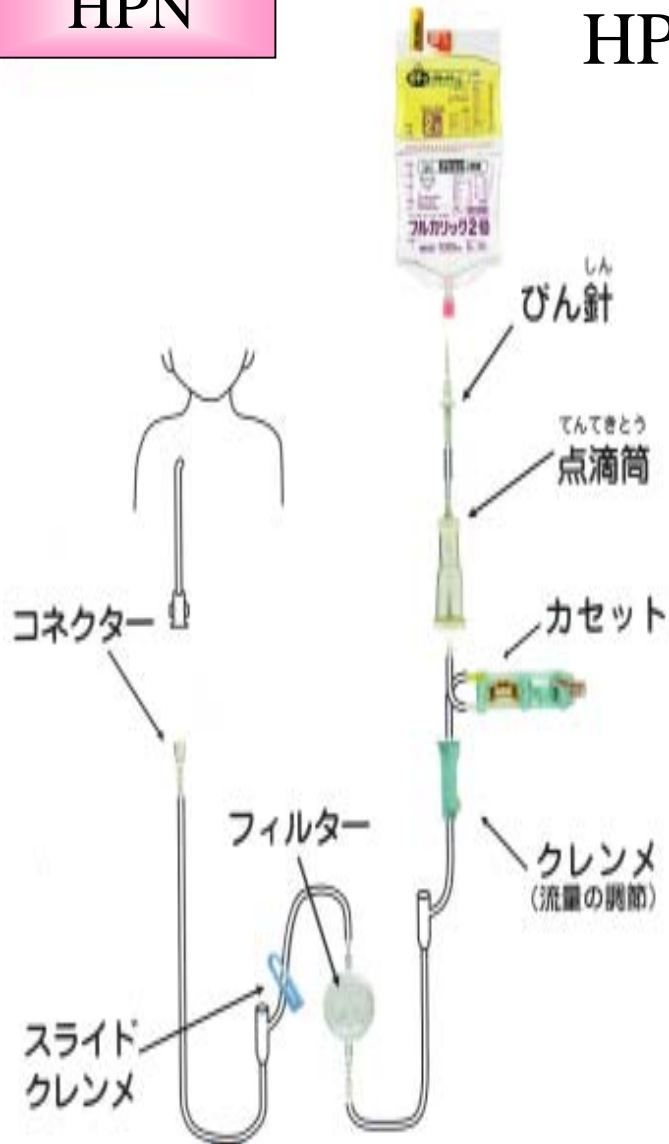


小児科:102名  
外科:14名  
内科:4名  
耳鼻科:10名  
放科:1名  
心外:1名

合計:132名

HPN

## HPN(在宅中心静脈栄養)



HPN

## HPNのポンプ手技について



開ける



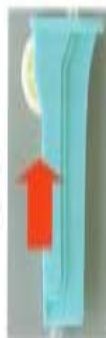
同時に押す



シールをはがす



カチッ



開ける





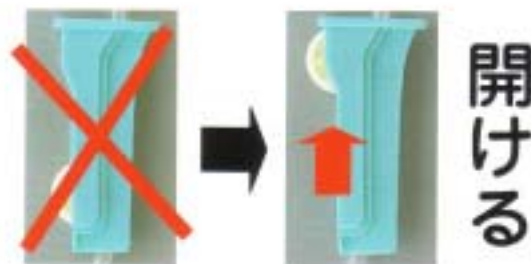
HPN

# アラームの対処方法①



赤色点滅

「輸液剤が流れていません。チューブが折れていないか、クレンメが閉じていないか、確認してください。」



開ける



緑色点滅



HPN

## アラームの対処方法②



「輸液剤がなくなりました。  
新しい輸液剤とチューブセット  
に交換してください。」

原因は？

- ・輸液剤がなくなっている
- ・点滴筒の中に輸液剤がなくなっている
- ・カセット部のチューブの中に小さな気泡がくっついている



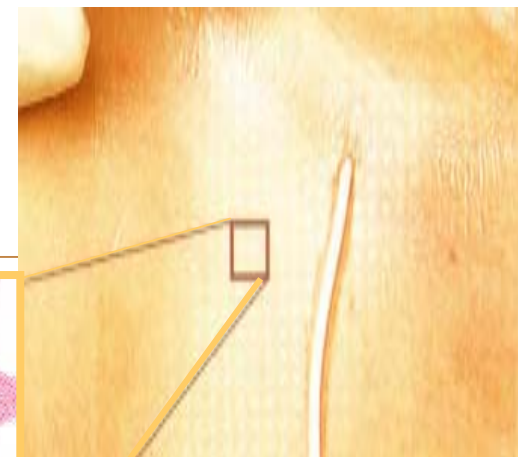
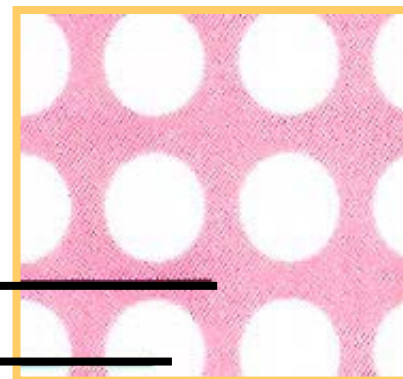
HPN

# 透明フィルム剤

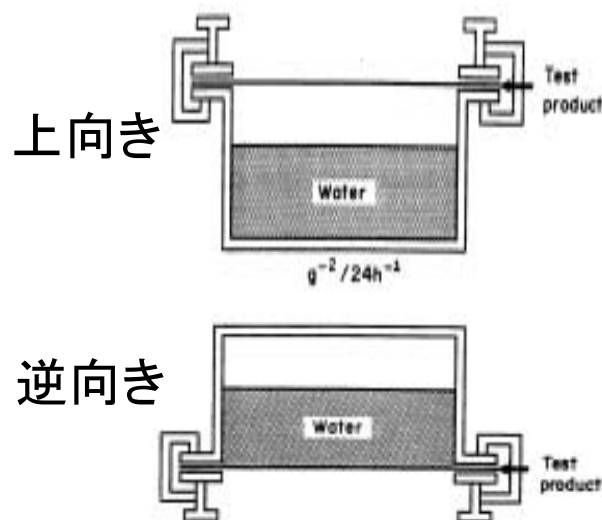
MVTR: 水蒸気透過率の比較

粘着剤が格子状に塗布されている(全体の75%)

粘着剤が塗布されていない



水蒸気透過率の比較(g/m<sup>2</sup>/24h)



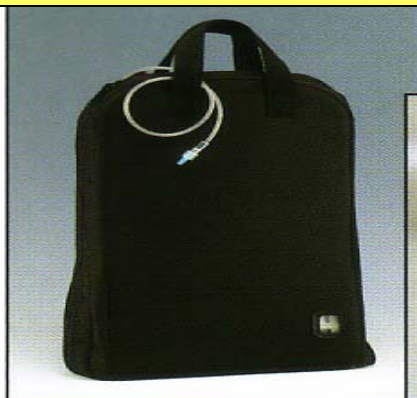
製品名	上向き	逆向き
オプサイト	829	847
オプサイIV3000	982	2930
テガダーム	794	846
テガダームプラス	722	780



HPN

# オプション品

## キャリーバッグ



(装着例)

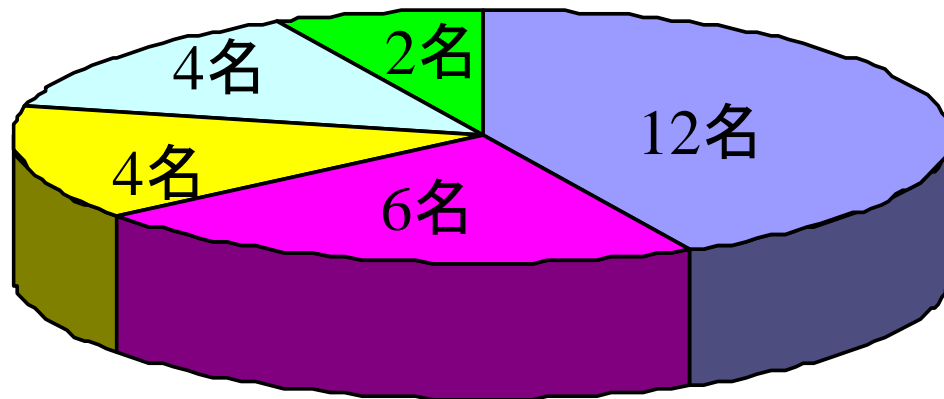


## ジャケット



HPN

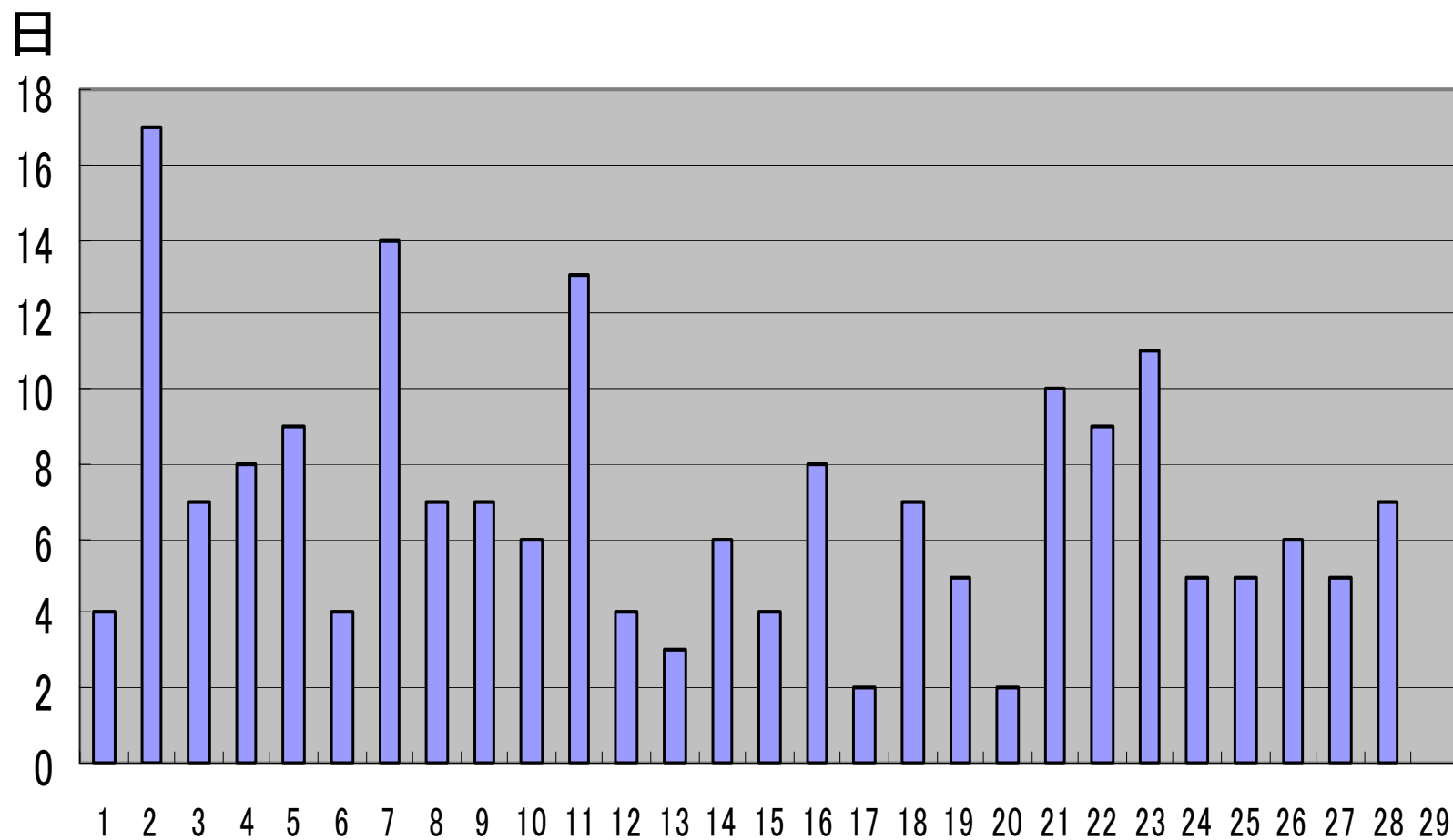
## 平成18年度・19年度の原疾患



- 胃癌
- 大腸・十二指腸癌
- 食道癌
- 子宮癌
- 膵臓癌

HPN

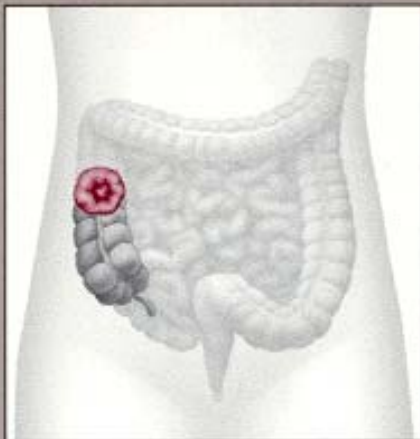
## 平成18年・19年度の指導回数



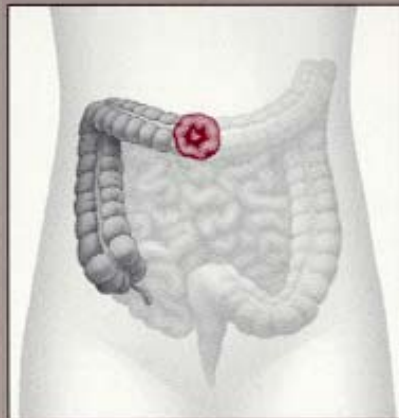
最短2日～最高17日

## ストーマ

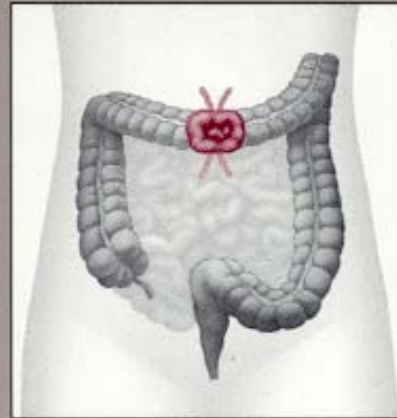
# ストーマの種類



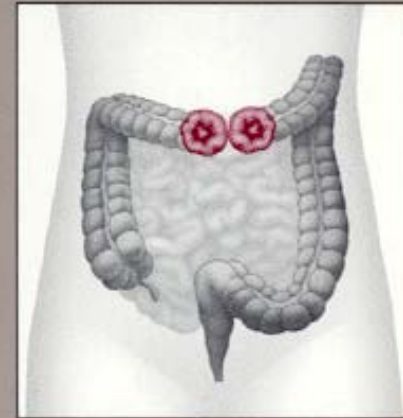
Ascending Colostomy



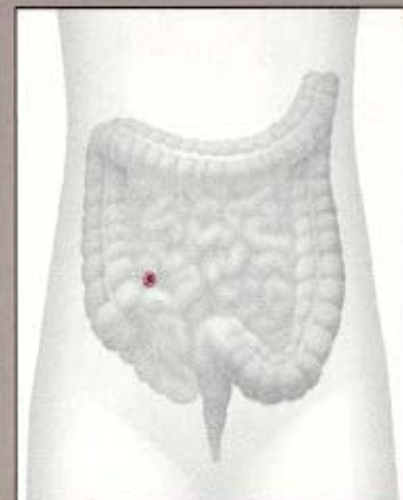
Transverse  
(Single-barrel)



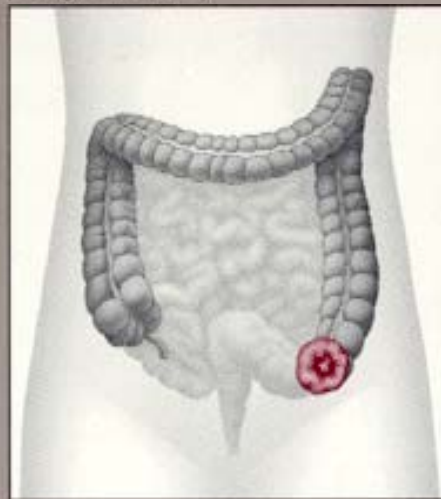
Transverse Loop



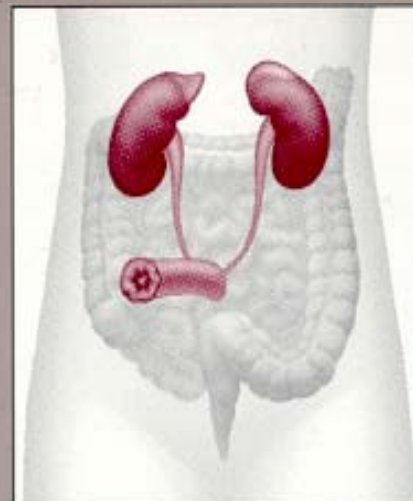
Transverse  
(Double-barrel)



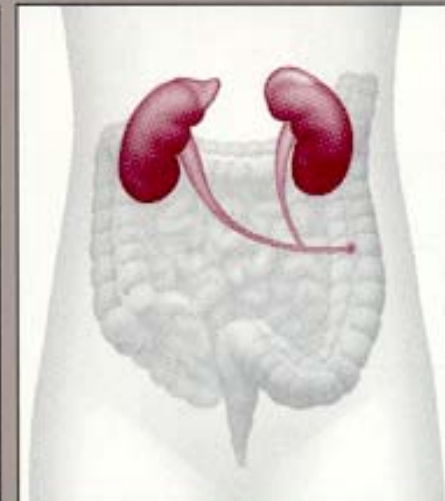
Ileostomy



Sigmoid Colostomy



Ileal Conduit



Transureteroureterostomy

ストーマ

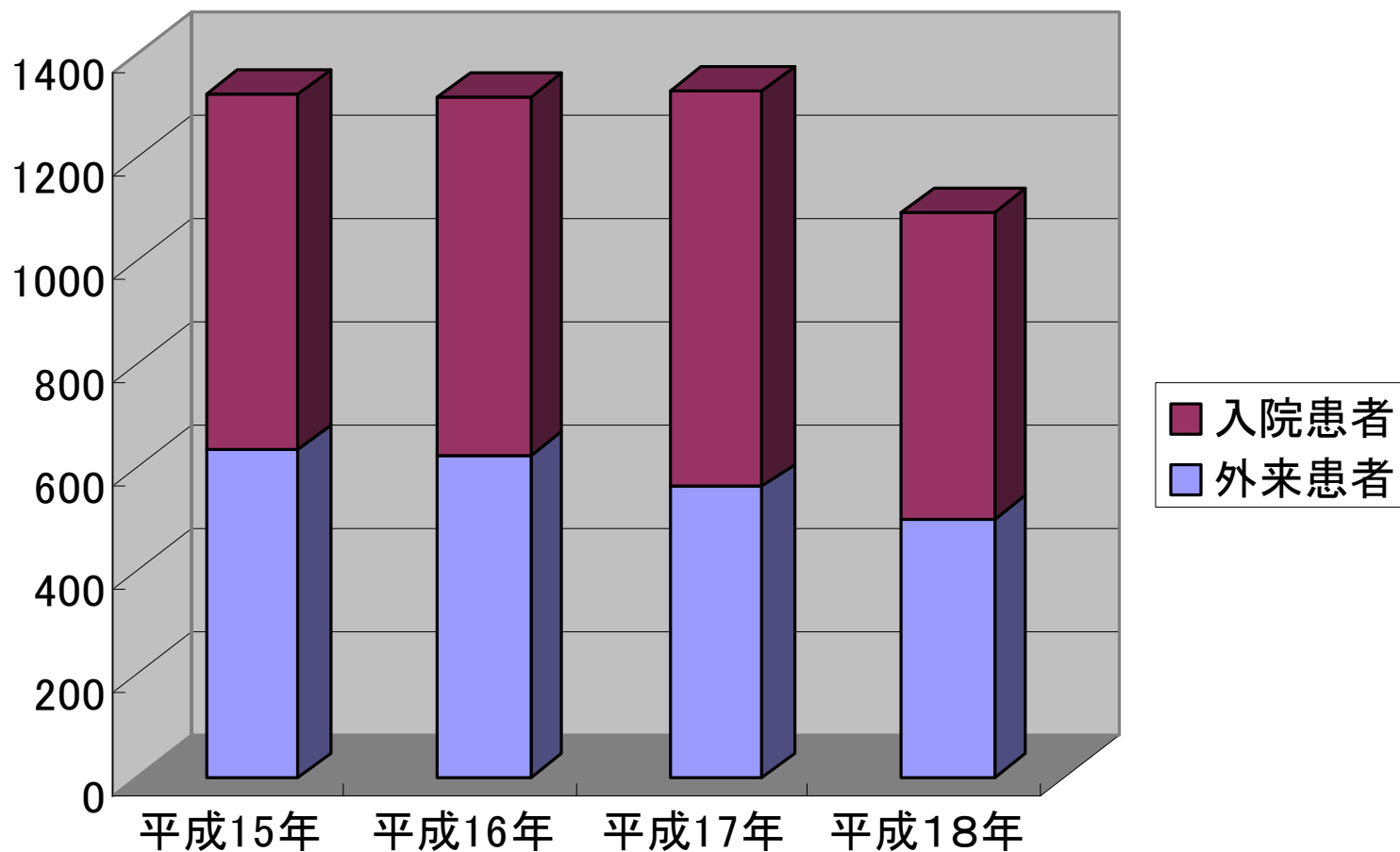
## ストーマ外来





ストーマ

## 当院におけるストーマケアの現状



ストーマ

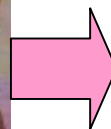
# セルフケア指導



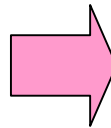
ストーマ

# 体位の違いによる腹壁の変化

<臥床>



<坐位>



ストーマ

## 腹部の変化による対応

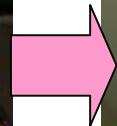


腹膜播種による腹部緊満や  
ストーマの浮腫・脱出への対応



ストーマ

# 急激な体重減少に伴う皮膚の下垂やしわ





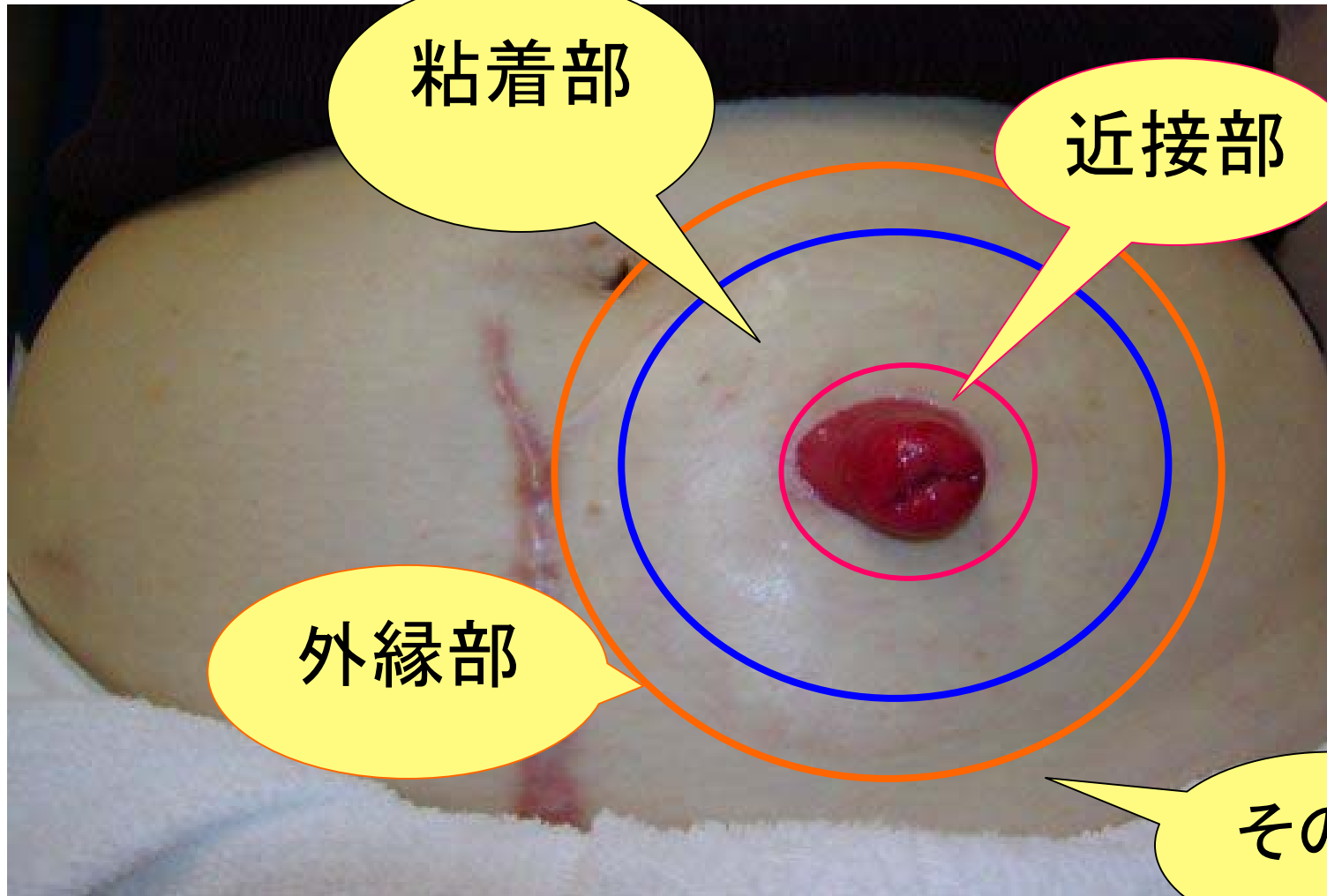
ストーマ

## 合併症や皮膚障害への対応



ストーマ

# 皮膚障害のアセスメント



# 皮膚障害への対応

## <近接部の障害>



- ①排泄物の刺激
- ②凸面装具による  
圧迫過度
- ③ペーストによるア  
ルコール刺激

## <粘着部の障害>



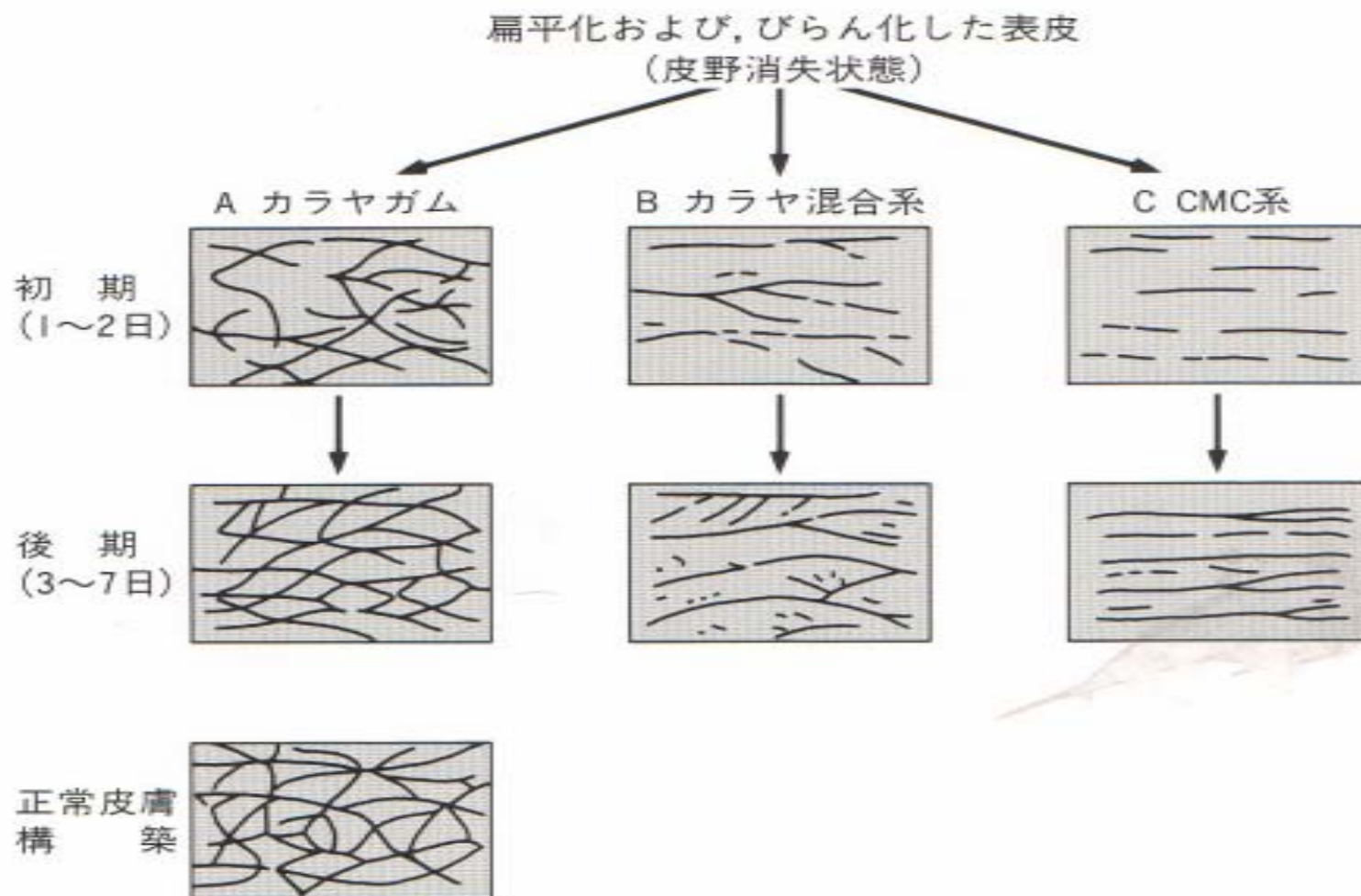
- ①スキンケアの不備
- ②皮膚保護剤の皮膚  
への刺激
- ③物理的刺激
- ⑤毛のう炎(感染)

## <外縁部の障害>



- ①粘着部辺縁の刺激  
による皮膚変化
- ②補強絆創膏による  
皮膚変化
- ③皮膚の緊張

# 皮膚障害時の治癒過程における 皮膚保護剤別の構築学的特徴





## ストーマ

ストーマの高さと腹部の状態による装具を選択

---





ストーマ

## ストーマ装具のいろいろ



「国内主要ストーマ用品一覧2005年度版」  
計230種類：平坦型183種類、凸型47種類

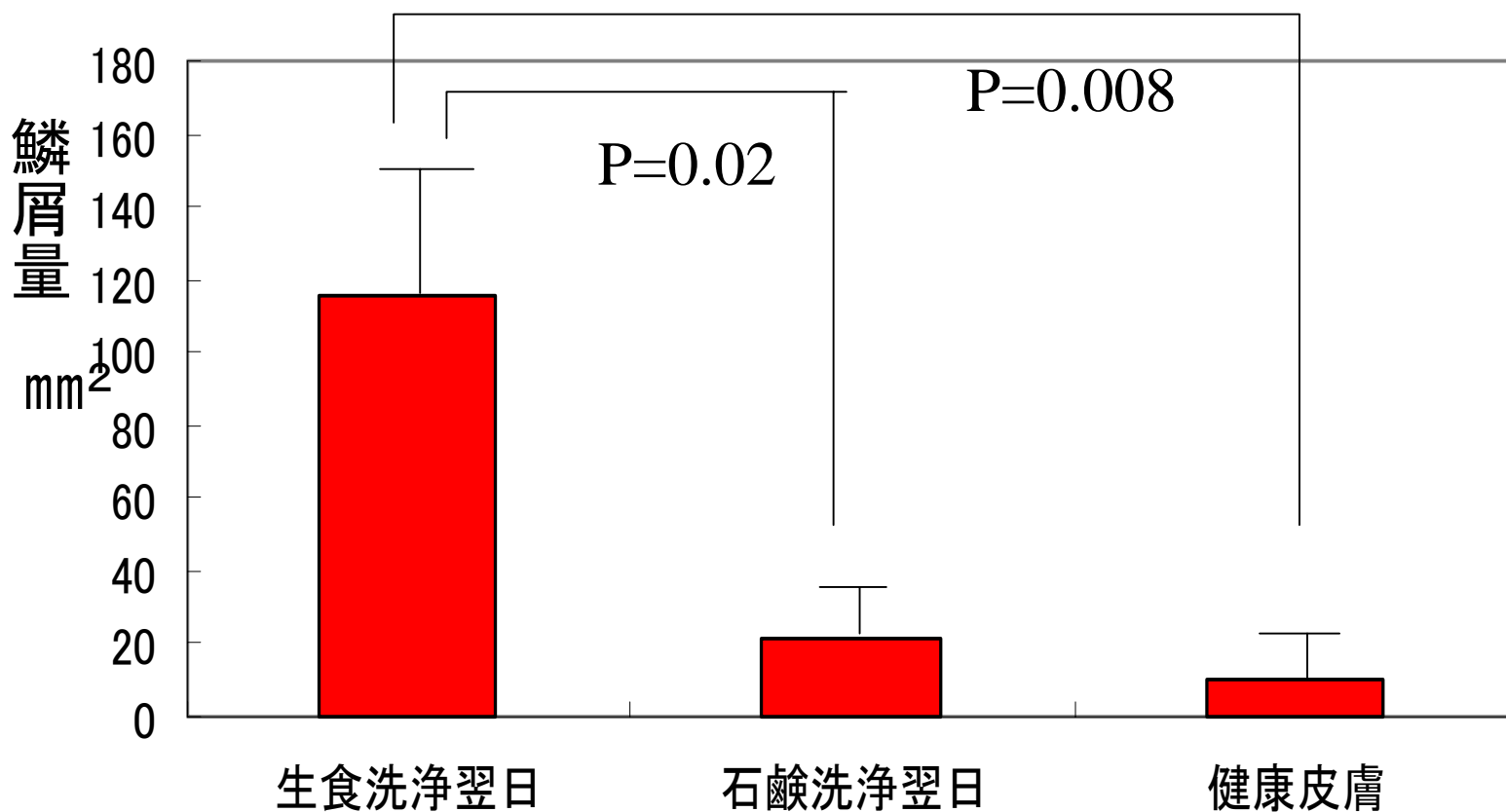
褥瘡

# 創周囲の洗浄



褥瘡

# 鱗屑量の比較



## 褥瘡

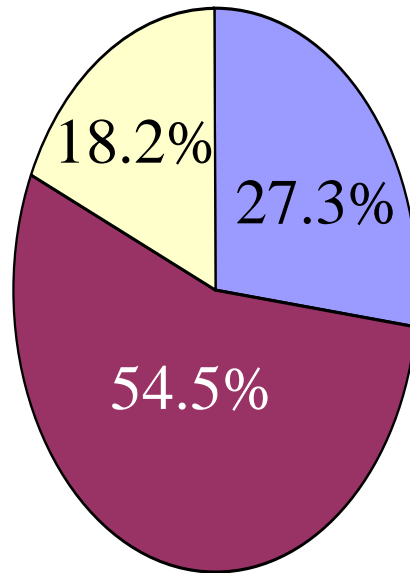
# 菌種の総計(述べ数)

	菌種 (n=13)	創部	創周囲
黄色ブドウ球菌	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA も含む)	40	38
グラム陽性桿菌	<i>Corynebacterium</i> sp.	33	28
腸内細菌	<i>Proteus mirabilis</i>	10	5
グラム陰性桿菌	<i>Arcanobacterium haemolyticum</i>	8	4
A群溶レン菌	A 群 $\beta$ - <i>Streptococcus</i>	8	6
緑膿菌	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	8	6
G群溶レン菌	G 群 $\beta$ - <i>Streptococcus</i>	7	3
大腸菌	<i>Escherichia coli</i>	4	4
表皮ブドウ球菌	<i>Staphylococcus</i> (CNS)	2	6
腸内細菌	<i>Enterobacter faecalis</i>	2	0
ブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌	<i>Acinetobacter baumannii</i>	1	2
カンジダ	<i>Candida</i> sp.	1	4
腸内細菌	<i>Enterobacter cloacae</i>	1	1

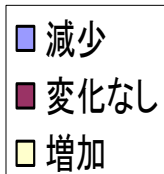
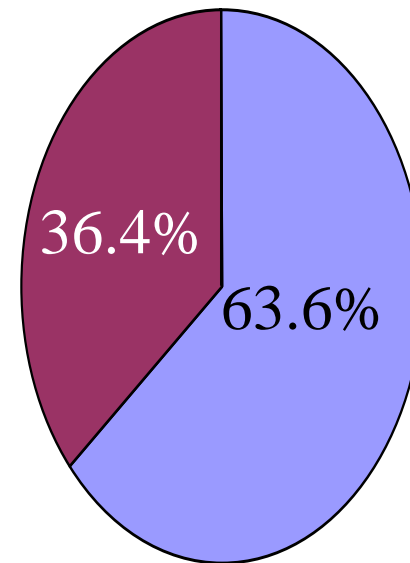
太字は起炎菌となりうる菌種

## 創部での洗浄前と翌日のコロニー数の減弱

生食洗浄前・翌日

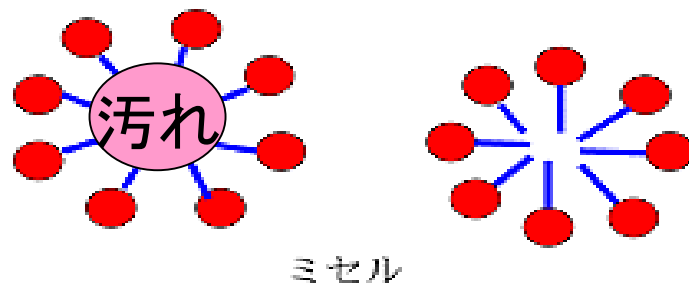
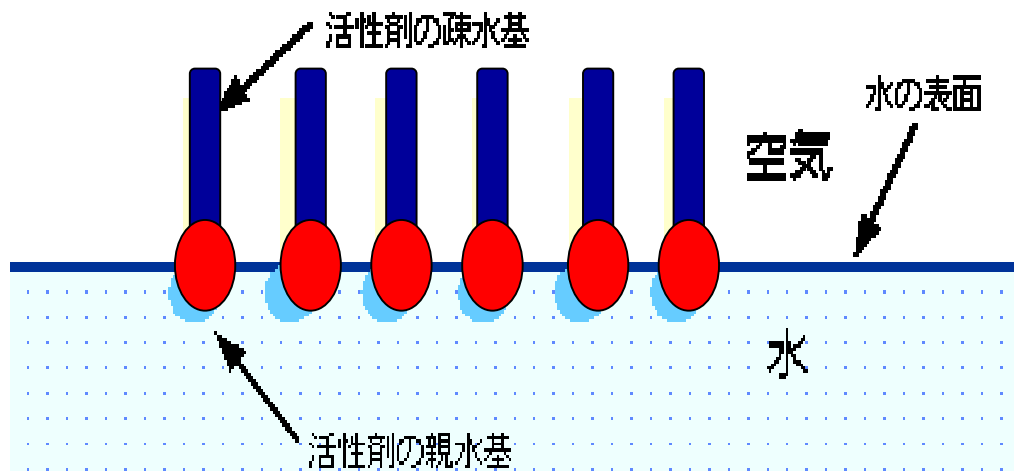


石鹼洗浄前・翌日



起炎菌となりうる菌種

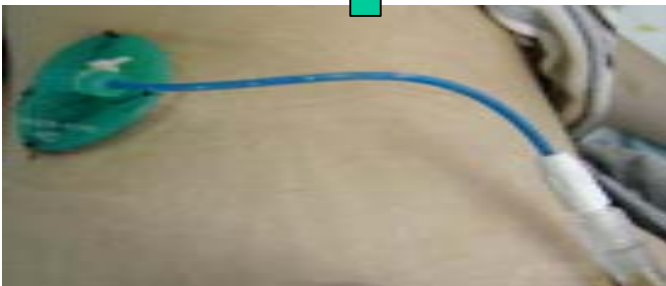




ミセルが出来はじめる濃度＝臨界ミセル濃度  
critical micelle concentratio(c.m.c)

腎瘻

# 腎瘻のスキンケア指導



## 1. スキンケア:

カテーテル挿入後1週間後からプロテクトは不要。

- ①全身状態が安定している
- ②発熱がない
- ③カテーテル挿入部から尿漏れがない

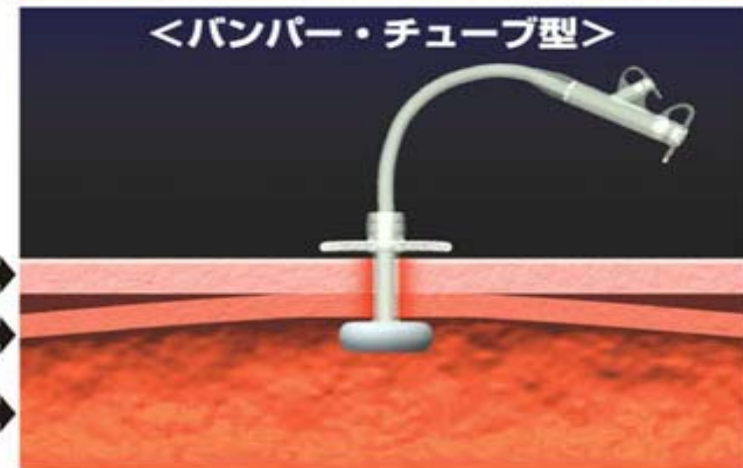
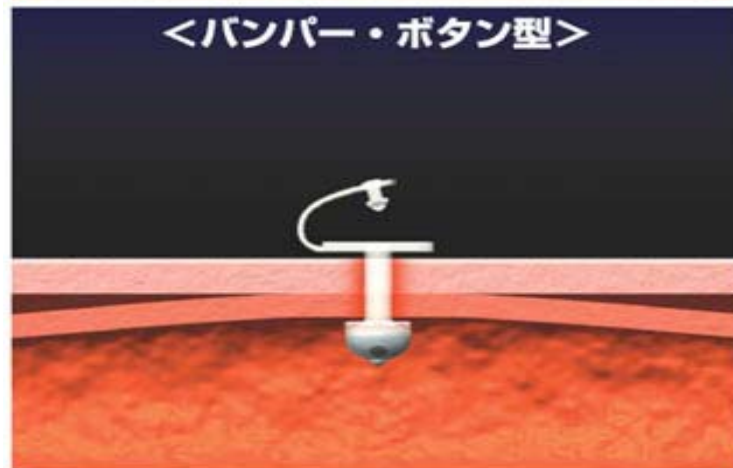
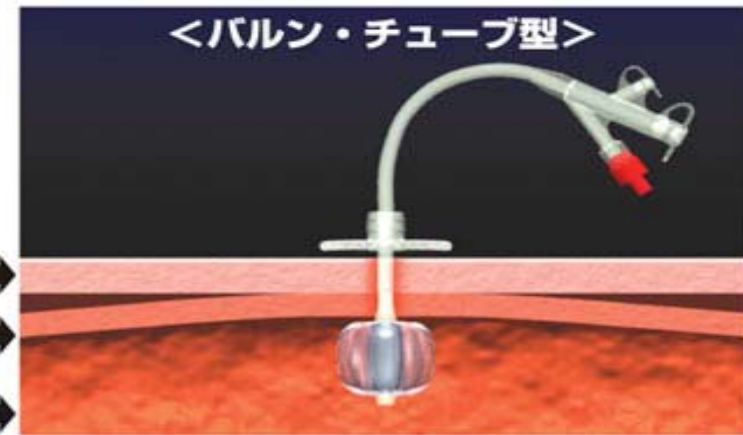
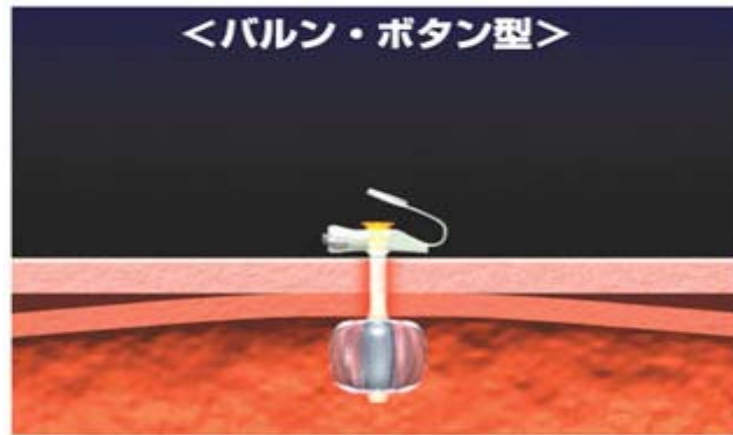
①~③を満たせば、シャワーから初め、入浴へ

## 2. 抜去時の対応

## 3. 定期的なカテーテル交換

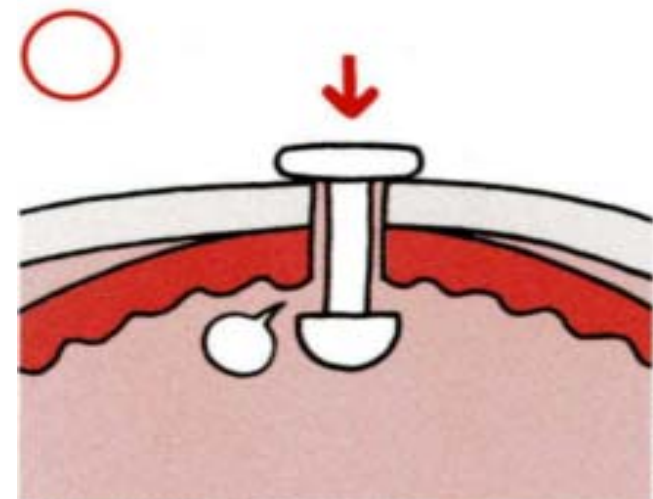
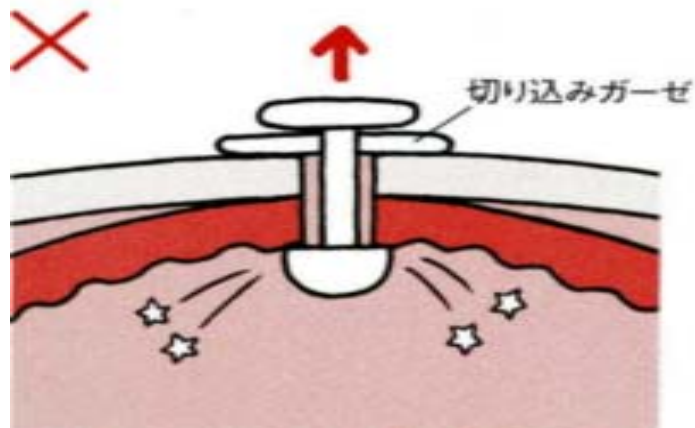
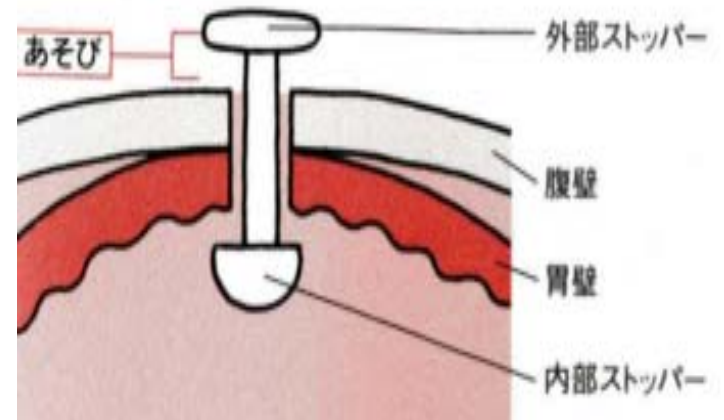
## 4. 日常生活指導(補助用具の使用・水分摂取指導)

# カテーテルの種類



胃瘻

## 胃壁部への圧迫を防止する



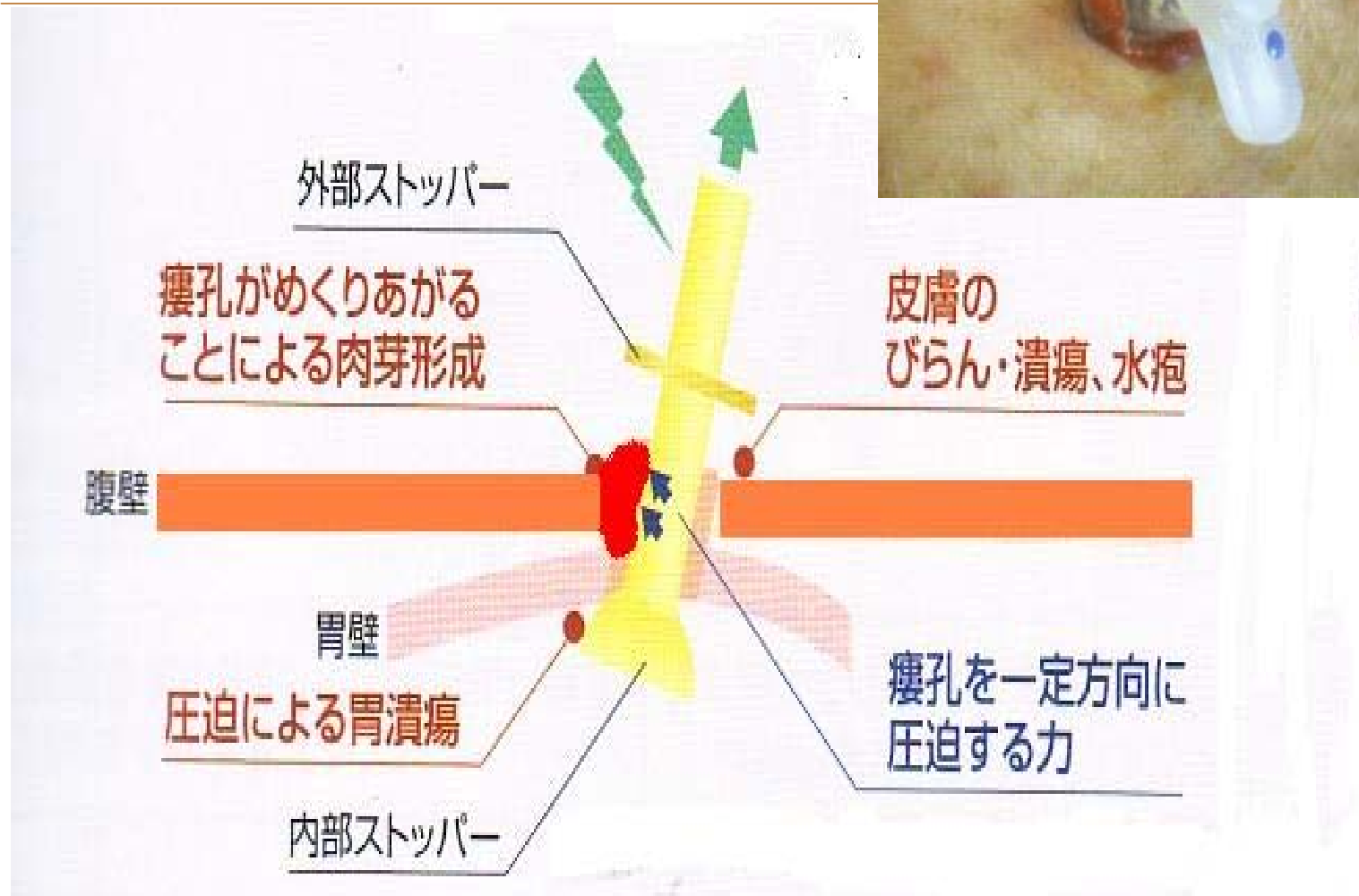


胃瘻・腸瘻

# スキンケアの重要性



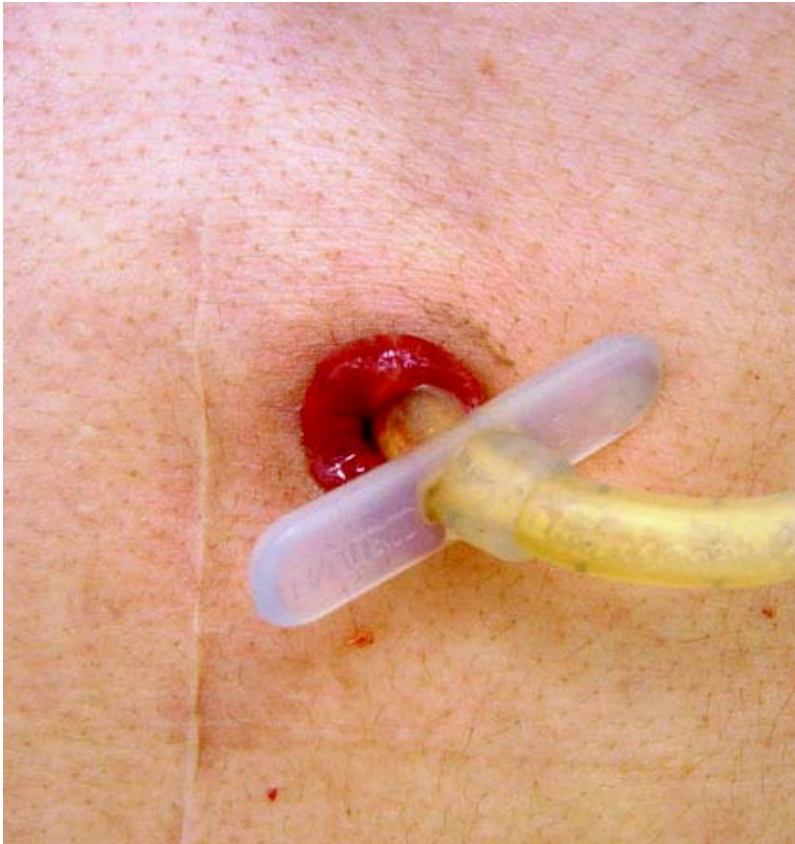
## 胃瘻



胃瘻

# 胃瘻周囲の不良肉芽

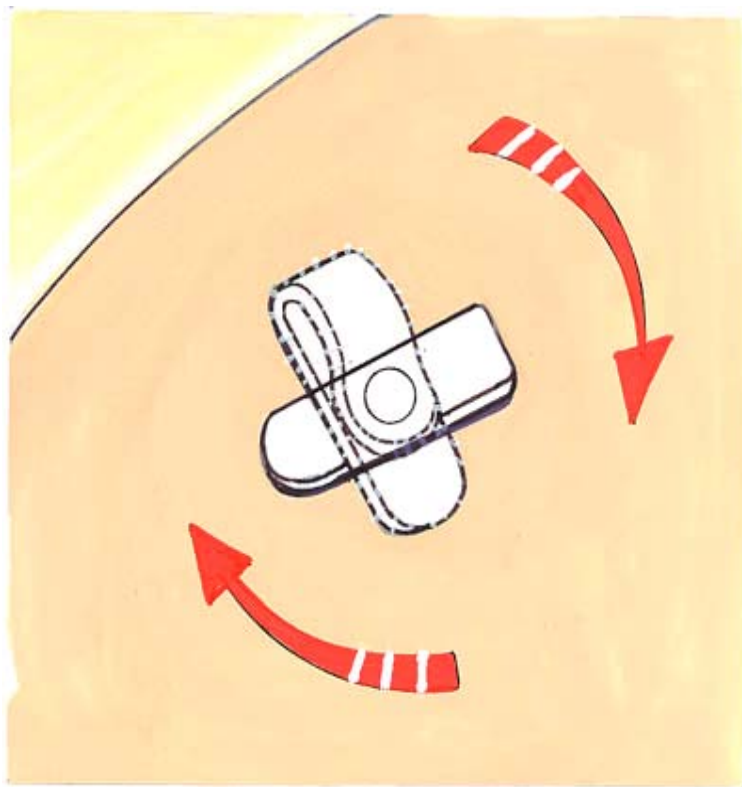
硝酸銀による焼却





胃瘻

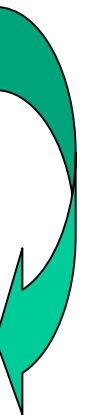
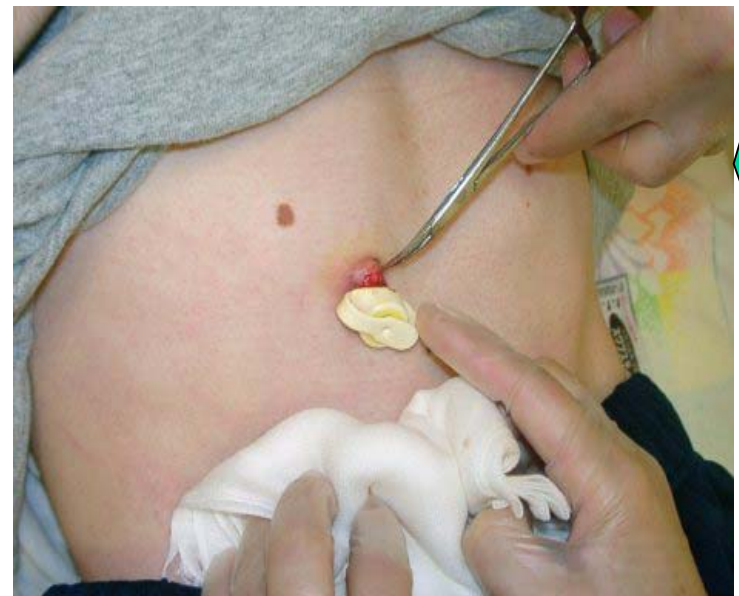
## 同一部位の圧迫を避ける



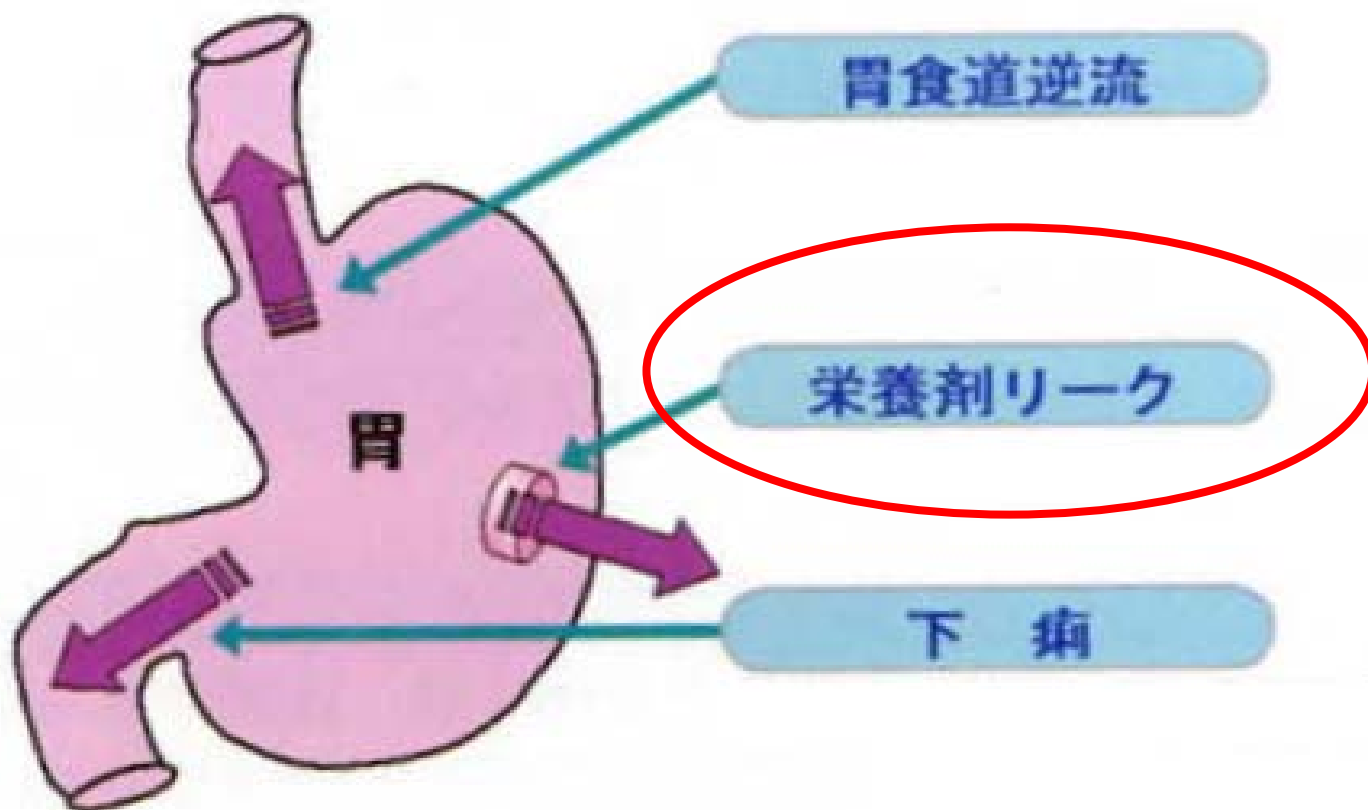


胃瘻

## 合併症出現時に医師との連携



# 胃瘻



胃瘻

# 栄養剤・消化液のもれによる皮膚炎



栄養剤のもれが持続



皮膚が常時湿潤



皮膚炎の発生

## 漏れへの対策

- 瘻孔径がカテーテル径より大きい
- 腹腔内圧の上昇
- 胃内の栄養剤停滞

胃瘻

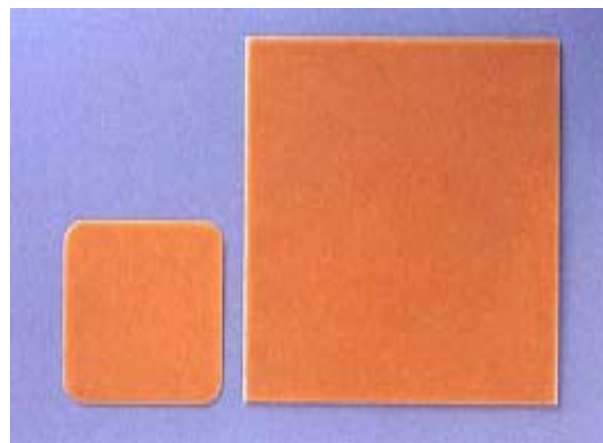
## 胃瘻周囲の健康な皮膚を保護



カットして  
装着

### 緩衝作用

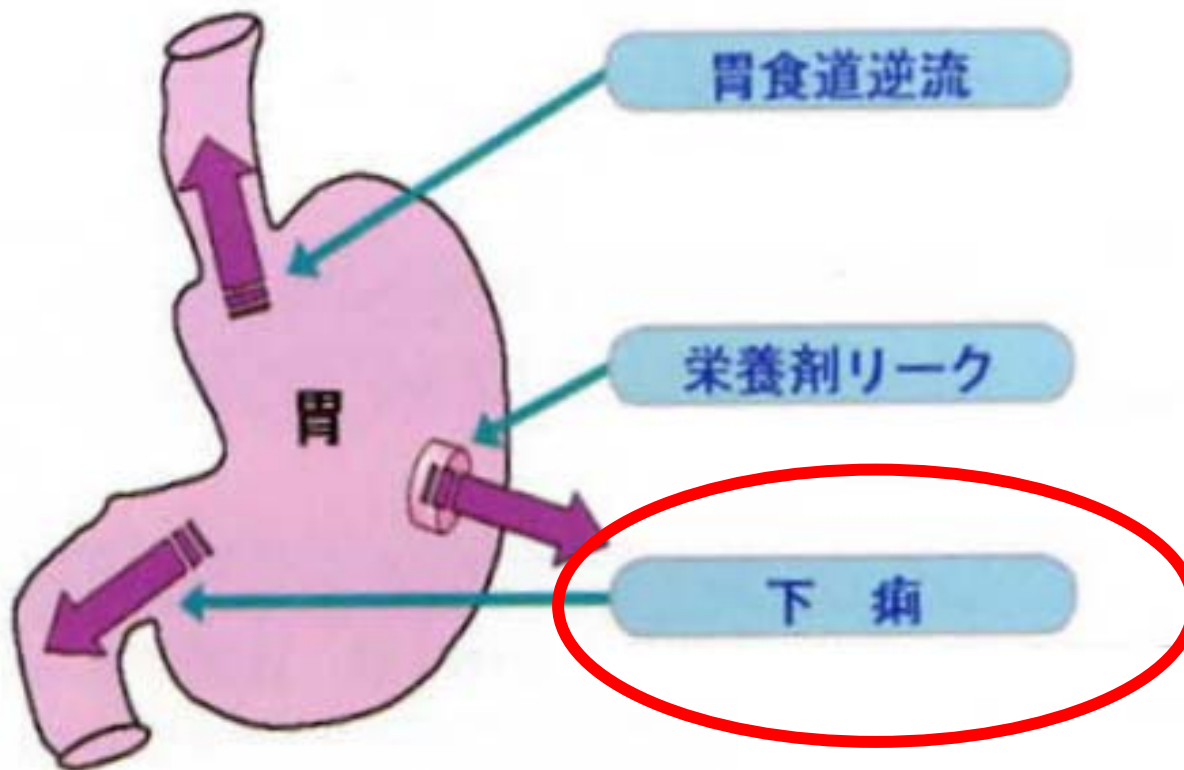
・浸出液に対して  
優れたPH緩衝作用  
による皮膚を保護





失禁

# 失禁ケア



失禁

## 便失禁による肛門周囲皮膚炎の原因

皮膚障害

化学的刺激

消化酵素

機械的刺激

頻回な洗浄・拭き取り

皮膚のバリア機能障害

ドライスキン  
皮脂成分の減少

身体機能の低下

皮膚の浸軟

排泄物の長期付着  
オムツ内の高温多湿

失禁

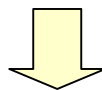
## 便失禁時のケアのポイント



### ● 皮膚の清潔と刺激物の除去

頻回に排便がみられる場合：弱酸性洗浄剤・排泄物除去用洗浄剤（リモイスクレンズ・セキューラCL）などにより洗浄を行う。ただし、使用は1日1回程度とする。

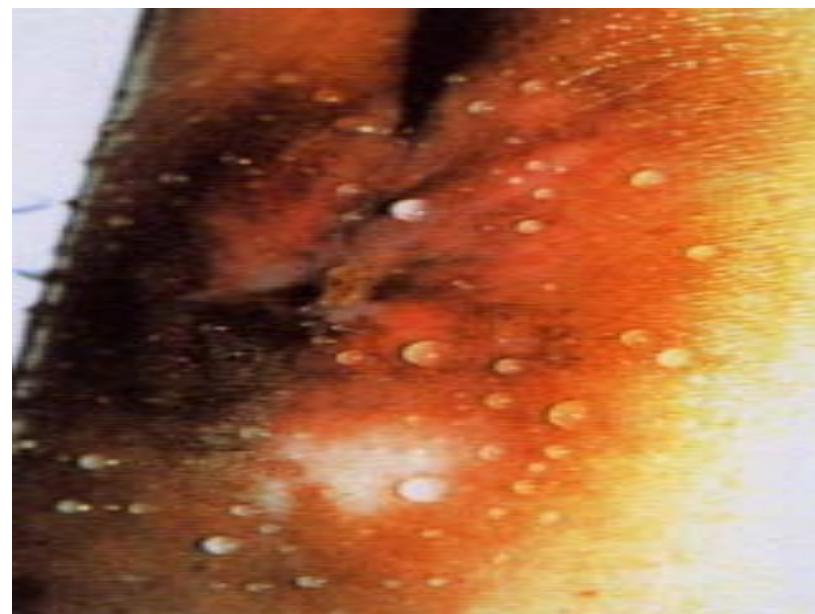
スキンケアとして好ましくないのは、**薬用石鹼**（殺菌剤を混入）や**新生児用ベビー石鹼**（皮脂や汗の分泌が活発な新生児用の洗剤）。



PHが高く脱脂力が強い  
ため皮膚の乾燥を招き  
バリア機能が低下

失禁

## 撥水性効果のある製品



・便が皮膚に付着しないよう、油性洗剤・被膜剤・撥水性クリームなどを使用し、予防または悪化させない。



失禁

## 失禁による皮膚障害

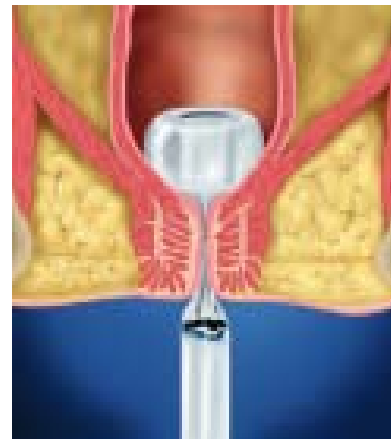
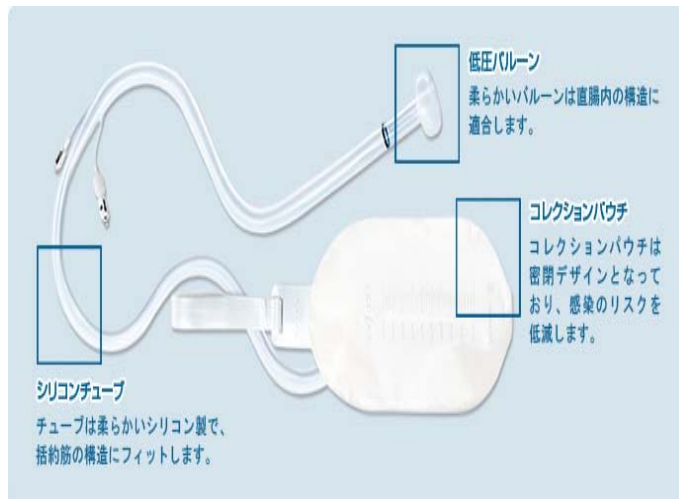


失禁

# 便・尿失禁対策



アナルプラグ



フレキシシール

失禁

# パウチング





腸慶

## 適切なオムツの使用



### 第1層 表面シート

軟便や下痢便も目詰まりしにくい網目状のシート。2層目へ素早く引き込んで表面に残さないから、ムレずにさらさら感が持続。

### 第2層 ろ過シート

かさ高のシートで便をせき止め、水分を効率よく3層目に導いて広がりを抑える。

### 第3層 吸収体

1層目と2層目で引き込んだ水分をポリマーが素早く吸収。内側に封じ込め逆戻りを防止。

